

**2019J2** ■順位表■ 第9節

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	水戸	19p	+7	11	4	
2	山形	18p	+6	12	6	HO
3	大宮	17p	+4	12	8	
4	柏	17p	+4	9	5	
5	甲府	16p	+7	14	7	A●
6	琉球	16p	+5	16	11	
7	京都	15p	+2	9	7	H△
8	金沢	14p	+7	15	8	
9	町田	13p	-5	7	12	
10	新潟	12p	+2	12	10	
11	岡山	12p	0	11	11	HO
	徳島	12p	0	11	11	A●
13	長崎	11p	-1	8	9	H●
14	愛媛	11p	-1	7	8	A●
15	横浜FC	10p	-2	8	10	A●
16	千葉	10p	-5	7	12	
17	東京V	9p	-1	9	10	
18	栃木	9p	-4	6	10	
19	山口	8p	-3	15	18	
20	福岡	8p	-5	6	11	
21	岐阜	8p	-8	5	13	---
22	鹿児島	4p	-9	5	14	H△

**次回HomeGame**

第12節 vs.FC琉球

5/5 (日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

**大酒場 ホームラン**

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)

年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

**Living in Woods**

本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

「いらっしゃいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
休:月曜日

today's guest : 水戸ホーリーホック

2018 J2 16勝9分17敗 勝ち点57:10位

直近の対決と結果

2018/11/11

J2 - 41節 @ K s スタ

水戸 1-1 岐阜

ライオン・デ・フリース

scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		水戸ホーリーホック	
2019/04/14 J2 - 9節@長良川 岐阜 0-4 長崎		2019/04/14 J2 - 9節@中銀スタ 甲府 1-2 水戸	
2019/04/07 J2 - 8節@ニンスタ 愛媛 2-0 岐阜		2019/04/07 J2 - 8節@K s スタ 水戸 1-1 徳島	
2019/04/03 J2 - 7節@中銀スタ 甲府 2-0 岐阜		2019/04/03 J2 - 7節@味フィ西 東京V 0-0 水戸	

●第4節以降、5試合勝利を掴めていないFC岐阜。雨の降りしきるホームに長崎を迎えた4/14(日)第9節は、前半は岐阜が試合を優勢に持ち込む。#10ライオンがPKを獲得するが、長崎GK #30徳重に阻まれると、後半の流れは長崎に傾く。そして今度はPKを決められて先制点は長崎に。同点に追いつくべく攻める岐阜だったが、#35長倉颯が警告2枚目で退場になると、岐阜のバランスが一気に崩れてしまう。得点しようと攻めるが逆にカウンターを浴びるなど3失点。結局、1点も奪い返すことができないまま0-4で惨敗。スタンドからは厳しい声も飛んだ。

これでFC岐阜は6戦未勝利、ホーム戦無敗記録も途絶えた。順位は現在21位、つまりJ3降格圏内だ。もちろん、現在の順位表では勝ち点差3以内に13位・長崎までが入っており、まだ9節を消化した段階なのだから、1試合の勝敗で大きく順位が変動する状況ではある。ただし、9試合で勝ち点8というのは『1試合で勝ち点1』という、いわゆる“J2残留ライン”の勝ち点を現時点で下回っているという事実も指摘しておくてはならない。当然ながら、『6試合1クールとし、1クール勝ち点10』という今季のチーム目標からすれば、その目標の半分しか達成できていない。今の時点できちんと危機感を持って、しっかりとチームを修正していかなくてはならないだろう。

ここ6試合未勝利なのは、その6試合でわずか1得点という、決定力不足が大きな要因だろう。現時点でリーグワースト3の失点13もいただけないが、最下位・22位の鹿児島と並んでリーグワーストの5得点はさらに深刻な問題だ。しかも、未勝利の6試合でのボール支配率はいずれも相手を上回っている。相手チームに岐阜の戦術が研究されていて、『岐阜にはボールを持たせておいて、守備を固めてカウンター』という、相手の術中に嵌ってしまっている感がある。苦しい状況ではあるが、悩んで後ろ向きになっていても事態は解決しない。迷った時こそ前向きに、積極的にガムシャラにひたむきに、勝利を掴むために走り抜いて相手の守備を突き破っていくしかない。

さて、今節の対戦相手は水戸ホーリーホック。昨年はJ2が22クラブとなった2012年以降でクラブ史上最高となる10位。長谷部茂利監督2年目体制の今季は、例年の主力選手流出に歯止めを掛けることに成功して開幕3連勝を達成。そして現在もなお、J2で唯一無敗を誇り、単独首位に立っているチームだ。現在の好調の要因は、やはり総失点4というリーグトップの固い守備と素早い攻撃が奏功していることだろう。現在の岐阜には相性の悪い戦術を採る水戸だが、これを覆す岐阜の選手たちの奮起に期待したい。

水戸との通算対戦成績は、岐阜の12勝5分7敗・39得点31失点、ホーム戦でも6勝2分4敗・16得点13得点と勝ち越しているのは好要素と考えたい。前回の11/11(日)第41節・アウェイ戦では先制点を奪われるが、#10ライオンがカウンターからのゴールで追いついて1-1のドロー。6/2(日)第17節・ホーム戦は#9山岸祐也が2ゴールを挙げるなど4-0で完勝した。彼らには、あの試合を再現するような、今までの鬱憤を晴らすようなゴールシーンを見せて欲しい。守備陣では、キャプテン#2阿部正紀が出場停止から復帰するが、#35長倉颯が退場により出場停止となる。前節で大量失点を喫した守備の立て直しは急務だ。

水戸の要注意選手には、#32黒川淳史を挙げる。カウンターや個人技での突破を得意とする選手で、2試合連続ゴール中と調子を上げている。そして、やはり#7志知孝明には注目せざるを得ない。羽島市出身、2009年に発足したFC岐阜U-18の1期生にして、現時点で唯一のFC岐阜ユース出身Jリーガー。水戸に移籍した今季は左SBにコンバートされてスタメンで起用されてフル出場し、SBながら2ゴールを挙げている。前節の甲府戦では後半アディショナルタイムに値千金の逆転弾となるFKを決め、意気揚々と地元凱旋してくるだろう。その活躍には心躍るものがあるが、しかし今節に限っては活躍させる訳にはいかない。

6試合未勝利と、暗いトンネルに入ってしまったチーム状況。しかし、明けぬ夜はないように、抜けられないトンネルもない。危機感を持ちつつも悲壮感は漂わせずに、今節も僕らサポーターは選手たちの背中を押して励ます拍手と声援を送ろう。時には叱咤激励しつつ最後まで選手たちと共に戦い続けることで、きっとこの暗いトンネルは抜けられる。そしてその先には、勝利の歓喜が待っているはずだ。(ささたく)

**投稿募集 !!** [gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第9節】岐阜0-4長崎

●今季は寒かったり雨が降ったり、あんまり良い天気では試合が見られていないなあ（溜息）。天気が良かったのは、今のところ開幕戦・山形戦と前節アウェイ・愛媛戦ぐらいかな？この日も予報よりも降雨は遅くなり、開門までは保ったけれど試合中はずっと雨。そんな中、そして毎年の事ながらスポーツ関係イベント盛りだくさんで駐車場も混雑する中、それでも4,212人の観客が。そして僕はまたしても『岐大通』の印刷部数を読み違えてしまう（苦笑）。こんな天気でもシーズンシート待機列には600人近くが並んでるとは……（感嘆）。となると、やっぱり結果が欲しい。そして長崎は3日前にルヴァン杯予選でマリノスとアウェイで対戦している。もちろん長崎はスタメンをほぼ入れ替えているけれど、それでも連戦の選手がゼロではないし、ベンチに入っていた選手も多いから、疲れは残っているはずだ。そして雨も降っているからボールは滑りやすい。ミドルを撃ってこぼれ球を走り込んで狙うとか、DFラインの裏に抜けるスルーパスを狙うとか、そういう戦法を選択するのが定石なのだけれど…やっぱりパス回しにこだわるよねえ（苦笑）。これだけ雨が降っていても水たまりが目立たない長良川のピッチというのは信じられない（誉め言葉）ことで、そんなピッチだからパスは良く回り、試合は岐阜のペースで進む。しかし、どうにも足元ばかりにボールが行く傾向が修正できていない。足元にボールを受けてから動き出しているのが、長崎の守備陣に対応されてしまう。敵味方が密集している地域でショートパスを多用すれば、わずかなパスの精度不足でボールを奪われるのは自明なわけで。そして長崎にカウンターで逆襲されるという、お決まりのパターン。それでもカウンターを防ぎながら攻撃を続ける岐阜。そしてPA内に侵入した#10ライザが倒されてPK獲得！これを決めれば…と誰もが思ったけれど、なんとボールは長崎GK #30 徳重健太のセーブに阻まれてしまう…しかも弾かれるのではなくてキャッチされるとは。完全に読まれてたしコースもスピードも甘かった。DAZN ハイライトを見てると、今季の#30 徳重はビッグセーブを連発してるから嫌な気はしてたんだよなあ……（溜息）。

絶好のチャンス逃すと、流れが一気に長崎に傾いてしまうのはサッカーでは良くあることで。後半になると、セットプレー直前の長崎の選手交代により、岐阜のマークがずれたところに入ったばかり#9イ・ジョンホにPKを献上してしまう。今度は岐阜GK #43 ヤン・オレ・ジーバースが止めてくれる…と期待したけれど、そんなに上手くはいかず、失点。そして#35 長倉颯が2枚目のイエロー。あれも厳しいジャッジだったよなあ…（溜息）。すると、長崎のカウンターが冴え渡り、対する岐阜の選手たちの足が止まり始めたように感じた。うーん、大木監督の目指すサッカーが“攻守の切り替えが早いサッカー”だとすると、90分間走りきれないのはどうなんだろう…そして1人足りない状況で足が止まり出せば、パスは奪われやすくなり、スペースは空き、カウンターは決まりやすくなるのは道理。3失点を奪われ、意地の1点を返すこともできずに試合終了。

あまりに惨敗だったから、選手たちは気持ちを引きずるのか、それとも切り替えやすいのかは僕には分からない。だけど、すぐに次の試合はやってくる。気持ちを切り替えて、ただし反省点はしっかり修正して、今節は勝とう！（ささたく）

●前回のホーム戦に続く雨中の試合。最後まで戦った選手やサポには悔しい結果となってしまった。負け惜しみだが、点差ほどの差があったとは思えないし、思いたくもない。選手は最後まで戦ってくれた。それは間違いない。そのうえで、体調を考えたとはいえ、日和ってメイン観戦に切り替えた自分ごときが書ける立場ではないのは重々承知のうえだが、あえて書くとするならば「納得できない。」ということ。

CKからやられた2失点目が残念すぎた。数的条件が関係ないハズのCKで失点したことには猛省と守備の再構築を促したい。「数的不利は関係ない。」と言われるのは、一般的には人数が少ない側のCKの際に使われる常套句。ただ、実際は攻撃側だろうが守備側だろうが関係ないハズ。ゴール前に並ぶ長崎の選手は最大で9人（この展開でGKが上がるワケないし、当然キッカーはゴール前にはいない）。さらに、カウンターに備えて一人は守備に回っているから、人数的にはウチが優位。なのに、あんなにあっさりフリーの選手を作っちゃったら、ねえ。ウチがPKを外し、長崎にPK決められたことよりもこの2点目が趨勢を決したと思えてならない。昨季の終盤。あのアルウィンでの守備はドコ行ったの？もちろん、PKが大きな分岐点だったことは確か。ただ、たとえライザが成功していたとしても勝てたと言えるか、どうか。さらに言えば、退場も敗戦の要因だったことも間違いない。アレは残念で不可解だった。しかし、試合の中での判定に偏りがあったわけではない。選手達は最後まで戦い抜いたが、結果はゴールなし。これで3試合無得点。アウェイが2試合あるとはいえ、掲げた目標に早くも届かなくなってしまったね。それにしても、5点取れそうな最前線が3人いるのと、15点取れそうな最前線が一人いるのとは、いったいどちらが優位なんだろうね？ウチは特定のエースは作らず、とにかくゴール前でフリーな選手を作って、誰でも点を決められるようにするのが究極のスタイル……だよな？今日もユーヤはチャンスをモノにできなかった。前半のチャンスで一本でも決められてたらなあ。とはいえ、長崎にも15点取れそうな選手はいないように見えた。ただ、10点取れそうなのがいて、その選手に決められた。そんな感じがする。根拠のない感想に過ぎないけれど。さて、前述の通り、今季の目標「6試合区切りで、区切りごとに勝ち点10」が二区切り目も達成不可能となりました。それでも、選手達や監督を始めとする現場スタッフには残り3試合で最大の勝ち点9を獲得してもらいましょう。ただ、それはそれ。ボクの願いは「J2、絶対残留！」。最低限で必要な勝ち点は42とってます。一節で勝ち点1。全部で42。後はどれだけプラスアルファを積むことが出来るか。幸か不幸か、ここまでの勝ち点が8。ふたつめの区切りの6試合はあと半分。自分の目安は勝ち点4。これで12節で勝ち点12。良くはないが悪くもない。これがクリアできれば、前回の岐大通・愛媛戦で書いた「監督云々は時期尚早」という立場を維持できます（苦笑）。正直なところ、シーズン途中の指揮官交替に良いイメージがないのです。まあ、ウチに限って言えば一回だけ「替えてくれ！」とは思ったことを告白しておきますが……。

とにかく、選手達や監督、スタッフの皆さんは、目標の勝ち点70目指して戦ってください。ボクも、自分の頬に自ら張り手をかましてでも気合を入れ直して、水戸戦に参戦します！万歳四唱を是が非でも！！

あ、それからコーヤには遅ればせながら、バースデー・ゴールを決めてもらいましょう。試合後にお祝いさせてくれっ！！（ぐん、）